



時を感じるレトロ街トリップ

時間ごとに 変わる景色を楽しもう

かつて津島神社の門前町・宿場町として栄えた愛知県津島市の天王通、本町エリア。レトロな雰囲気を感じる天王通と歴史ある街道として栄えた古い街並みを残す本町筋周辺には、地域に根付いたお店から、女の子のテンションが上がる可愛いお店が点在している。

お店からは、店主とお客さんの会話が聞こえ、お店にいれば、違うお店の店主さんがやってきて話が盛り上がることも。

また、レトロな街並み、歴史ある街並みは、朝や夕暮れ、夜更けといった時間毎に、出会える風景や人がさまざま。

今回のつしまいろでは「時間」と共に街を巡っていく。歴史や情景を感じながら心温まる時間を体験してみよう。

index

特集

「時を感じるレトロ街トリップ」

4~5p ... 昼下がりがどき 夕暮れどき
6~7p ... 宵の口どき 夜更けどき 明け方どき

8~9p ... とえはたえ写真大会
10p ... おやつ女子 BAKERY CAFE 空~kuu~
11p ... 応援しています
津島ゲストハウスだより
ふらっとくいしんぼハムス

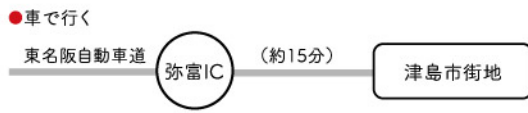
※新型コロナウイルスの影響により、今号掲載の取扱内容、営業時間等が変更となっている場合があります。掲載内容の状況についてお知りになりたい場合は、直接店舗等へご確認ください。



津島って
どんな街？

ACCESS

●名古屋から電車で行く(約30分)
名古屋駅から、名鉄電車に乗って約30分
名鉄名古屋駅「1番ホーム」の色分けされた位置で乗車



津島市は愛知県の尾張地区西部にある街で、木曾川下流の支川に面した川湊として栄え、近郊に生まれた戦国武将の織田信長が街の商業を発展させたことから「信長の台所」とも呼ばれていました。

津島市街地にある津島神社では3月の開扉祭、7月の尾張津島天王祭、10月の秋祭などの祭りがあり、伝統を今も街の人々が守り続けています。

近世に川の流れるが変り川湊が失われたものの、今も池の残る天王川公園には広い藤棚があり、4~5月の開花時期には多くの見物客を集めています。

尾張津島のイロドリMagazine「つしまいろ」は、この街に普段からあるイロドリを伝えてゆきます。